

第2回 牛久沼越水対策検討委員会 議事概要

- 1 日時 令和5年11月2日(木) 14:00~16:00
- 2 場所 茨城県薬剤師会館3階大会議室
- 3 出席 武若委員長、堤委員、横木委員、小淵委員
- 4 議事 氾濫事象の再現について
越水被害の発生要因について
- 5 内容 資料3 第2回委員会説明資料に沿って、「越水被害の発生要因に係る堤防沈下の要因及び氾濫事象の再現結果」、「今後の越水防止対策検討の留意点」、「今後のスケジュール」等に関して事務局より説明。
- 6 委員からの意見等
 - ◇今後の越水防止対策について
 - (1) ハード対策
 - 牛久沼の沈下した堤防改修について、沼全体の嵩上げは困難という前提で地域の優先度等を考慮した観点が必要である。
 - 農地(3号地)の対策について検討すべきである。
 - 気候変動や将来の土地利用による流出量変化の影響についても今後の検討項目とする必要がある。
 - (2) ソフト対策
 - 降雨、水位の観測体制の強化や地盤沈下傾向の把握に努めるべきである。
 - 大雨や水位上昇の情報発信をより早期に行うことが重要である。
 - 八間堰水門の運用において事前放流の実用化を検討すべきである。
 - 暫定的な水防連絡体制の運用は元より、マニュアル整備や洪水予報河川等指定の検討など、関係機関同士の水防の連携強化をすべきである。